

① 災害に強いまちづくりについて

広島、岡山、愛媛県など西日本を中心に甚大な被害を出し、平成最悪の豪雨災害となりました「西日本豪雨」。その被災地の上を東から西へ横断するなど異例のコースをたどった台風12号と、今年も日本列島は連続して災害に見舞われています。

西日本豪雨では、逃げ遅れたとみられる犠牲者が相次ぎ、1人での移動が困難な高齢者も多数含まれていたと報道されています。的確な避難情報提供と行動支援が必要と考えます。地域の特性もあると思いますが、災害に強い町づくりについて住民と行政が一丸となった取り組みが必要です。

本町においても災害時の緊急体制や日頃の防災対策、危険個所の確実な周知、お互いが助け合う繋がりなど、多くの課題があると感じています。

そこで、以下の質問を致します。

- (1) 避難行動要支援者 支援制度についての現状と課題を伺います。
- (2) 災害に対する危機意識の醸成についてどのような取り組みを行っているか伺います。
- (3) 防災情報が住民に正確にタイムリーな情報が提供されているか伺います。
- (4) 災害時のマンパワーの確保について現状と課題を伺います。
- (5) 災害用備蓄食料についての現状と課題を伺います。
- (6) 消防団の充実・強化について本町の考えを伺います。
- (7) 自主防災組織の育成について伺います。

② 町の暑さ対策について

埼玉県熊谷市で国内の統計開始以来の最高気温を更新する41.1度を観測した記録的な高温となり、熱中症による搬送者が多数発生しました。こうした今年7月の気象状況について、「異常気象の連鎖だった」と気象庁の見解が示されました。また災害級の猛暑とも言われています。

長崎市と西海市では、8月10日に、今夏の記録的な猛暑を受けてそれぞれ市立小中学校の全普通教室にエアコンを設置する考えを示しています。

県内で今後検討したいとする自治体もある一方で、必要性を感じていても財政的理由で設置が難しいという意見も多かったと報道されていました。

そこで長与町の取り組みについて質問致します。

- (1) 町で小中学校の全普通教室にエアコンを設置する考えがあるか伺います。
- (2) 保育園の暑さ対策への指導はどのように行われていますか。また、公営である高田保育所のエアコン設置はどのようになっているか伺います。
- (3) 町内の介護施設の暑さ対策、熱中症予防についてはどのような指導を行っているか伺います。
- (4) 高齢化が進む長与町において、高齢者への暑さ対策、熱中症予防について、どのような対応を行っているか伺います。